

自主学習タイム・読書環境の充実について

令和3年度から全活動室において、活動内容に自主学習タイムを取り入れ、学習習慣の定着を図るとともに、読書環境の充実をめざしている。

子ども一人あたりの自主学習タイム(現況調査からのまとめ)

- ・平日(月～金曜日) 50分程度(宿題タイム30分、読書・調べ学習20分)
- ・土曜日・長期休業日 60分程度(宿題タイム30分、読書・調べ学習30分)

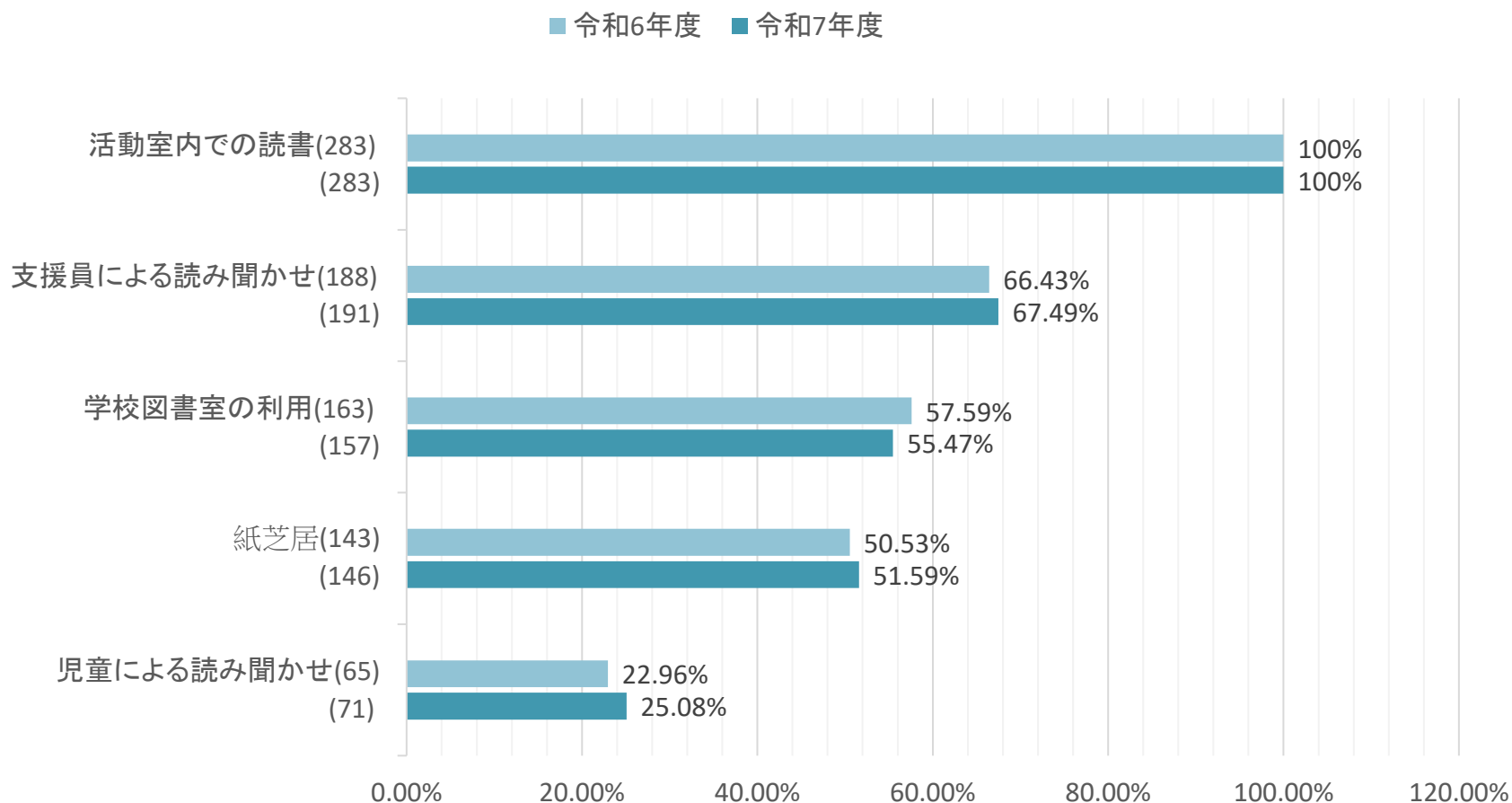
読書環境の充実の取組(実施活動室の状況は、P2～P3を参照)

- ・「活動室内での読書」は、実施活動室の割合が100%、「支援員の読み聞かせ」や「紙芝居」などは、昨年度から実施活動室の割合が増えていることから、多くの活動室が児童の読書への興味・関心を引き出そうとしていることが分かる。
- ・「おすすめ本コーナーの設置」や「面展台」などは、児童の実態を見据えた読書環境整備であり、昨年度からは実施活動室数が増えているものの、未だ半数に満たない状況である。
- ・これらの環境整備をすすめることで、自主学習タイムの充実につながるものと考えており、この調査結果をいきいき活動室と共有し、次年度さらなる取組み数の増加をめざす。

読書環境の充実の取組にかかる活動実施数(現況調査からのまとめ)

読書環境の充実(活動面)の取組(実施活動室数)

※複数回答あり



読書環境の充実の取組にかかる活動実施数(現況調査からのまとめ)

読書環境の充実(環境整備面)の取組(実施活動室数)

※複数回答あり

